

令和元年度 “ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー 改善提案とりまとめシート

1 基本情報

政策	政策 8 世界の人々との交流の拡大		
政策の柱	8-1 世界クラスの資源を活かした観光交流の拡大		
議論した施策	(1) 国際競争力の高い観光地域づくり (2) 観光客の来訪の促進		
実施日／班名	9月7日(土) 第2班	担当部局名	文化・観光部 観光政策課 観光振興課

2 施策改善提案

観光地域づくりにあたっては、行政と民間企業、地域住民等との連携強化が必要である。例えば、企業は、地域貢献の在り方の検討や企業間の連携、個人は、観光客を受け入れる側として外国人への偏見の解消や外国文化等の情報の収集や発信などに、行政やDMOとともに取り組むことが必要である。

DMOがその役割を発揮できるよう、県は、全県一律、平等にこだわらず、地域のトンガリ間を更に発揮するような戦略的不平等という視点で取組を推進すべき。また、幅広い分野で活躍できる専門人材の養成にも取り組むことが重要。

学校における地域学習に観光の切り口も取り入れ、地元が知っている歴史的遺産や地域文化だけではなく、地域が知らないことに改めて気付くことができるような、地域の魅力の認知度向上への取組を推進することも必要である。

これらの取組を実施するにあたっては、平行して情報発信に取り組むことが重要。

- 県は、観光地域づくりの要となるDMOの活動や役割を地域企業・住民に周知を図るとともに、DMOへの地域住民の参画に対する支援など、DMOと地域の多様な主体との連携強化等に向けた取組が必要
- ターゲットやニーズを分析し、ホームページやSNS、海外の旅行サイトなど様々な手段を用いて、静岡県の魅力の情報発信が必要
- 教育機関等と連携した観光人材の育成が必要
- 訪日外国人に対して、日本文化やマナー・ルールの周知を図り、地域住民の持つ不安感を解消すべき
- 地域住民に対する、訪日外国人を受け入れる多文化共生意識の醸成や、居住地域の資源を知り、魅力を発信できる人材を地域の中で育成することが必要